

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>① 教育課程の編成に工夫を凝らし、生徒の意欲や関心の高揚に取り組む。</p> <p>② 国際社会で生き抜く高い人格と心豊かな感性を備えたグローバルリーダーの育成に取り組む。</p>	<p>① 新学習指導要領への円滑な移行を見据えながら、一人ひとりの個性を伸ばす教育課程の改善を継続する。</p> <p>② クリティカルシンキングを身につけ、他者と協働して問題解決にあたる授業研究を教科横断的にこなす。</p>	<p>① セメスター制の成果を検証するとともに、本校の実態や生徒の希望に沿った教育課程の改善に活かす。一人ひとりの個性を伸ばすことのできる授業を展開できるように年間教育計画を構築する。</p> <p>② クリティカルシンキングや協働的問題解決能力の育成に係る各教科の取り組みを教科横断的に共有し授業研究を進める。</p>	<p>① 本校、および生徒の実態に沿うような教育課程制度となっているか。個性を伸ばす授業内容、時間を確保できたか。また、様々な行事などの活動も展開できる年間教育計画を構築できたか。</p> <p>② 各教科の授業研究に係る取り組みを、他教科と共有することができたか。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>生徒一人ひとりの個性を伸ばすことができる教育支援を実践し、生徒にしっかり向き合った教育体制の充実を図る。</p>	<p>① 教育相談コーディネーターを中心として、組織的にきめ細かい教育相談体制を整備する。</p> <p>② 学校内外でいじめ防止のため、全職員で生徒たちの動向に注意を払い、また防止に向けた啓もう活動を行う。それとともに、いじめ発生時には、年次団・生活支援Gが協力し迅速な対応を行う。</p>	<p>① 月に一度、教育相談コア会議を開催し、問題を抱えた生徒についての情報を共有する。さらに、ケース会議を通じて、その情報を職員全体で共有する。</p> <p>② 管理職・生活支援G・年次団担当で、いじめ防止のための啓蒙を行う。年に2回生徒向けのアンケートを行い、実態の把握に努める。いじめ発生時には、対策チームを発足させ、対応を行う。</p>	<p>① 教育相談コア会議の場で提示された情報を、職員全体で共有できたか。</p> <p>② 全職員で、いじめ防止のために協力して、注意を払う等の行動ができたか。</p>					

			③ 多文化理解への柔軟性を高め、グローバルな社会的な課題への認識を深める。	③ 多文化への柔軟性を育てるため、ホームステイ等の交流活動を増やす。グローバルな課題への認識を深めるため、グローバルエキスパートレクチャーやグローバルキャンプなどを実施する。	③ 交流活動を増やすことにより、異文化理解への柔軟性を育てることができたか。グローバルエキスパートレクチャーやグローバルキャンプなどを通して、グローバルな課題への認識を深められたか。					
3	進路指導・支援	入学から卒業までの体系化した進路支援の流れを作り、生徒が自らの将来像を見据えて早い時期に目標を定められるよう情報提供を行い、多様で主体的な進路選択を促進する。	① 自己目標発見がタイムリーにできるよう、行事等の機会を活用する。 ② 進路情報リテラシーを育成する。 ③ 多様なデータの活用及びフィードバックを充実させる。	① 進路行事の教育的効果を高めるため、生徒の必要に応じた分野を検討する。緊密に連携を行い大学や卒業生の協力を得られるよう調整する。 ② 校内模試の実施、校外模試・オープンキャンパス・学習ツール等に関する情報や入試情報の提供を行う。 ③ 進路支援業務に係る各種データの取り扱いについて慎重に検討を進める。	① 進路行事やオープンキャンパスへの参加により生徒の意識に変革はみられたか。 ② 模試や学習ツールの利用により生徒の学習への意識に変化は見られたか。 ③ 各種データの取り扱いについて、校内の関係各方面と情報の共有が図られたか。					
4	地域等との協働	家庭や地域社会の教育力の活用を推進し協働することで信頼される学校づくりを推進する。	① 地域と共にある学校づくりをすすめる。 ② 連携する大学と積極的に交流を深める。	① 隣接する二谷小学校や神奈川工業高校、みどり養護学校と連携した活動を行う。また学校行事や防災活動を通じて近隣住民との連携を図る。 ② 担当者を決定し、計画的な活動内容を構築する。	① 各学校との連携が図れているか。保護者や地域住民の理解が得られているか。 ② 生徒に有益な高大連携の情報を提供できたか。					
5	学校管理 学校運営	社会の変化に対応し、意欲的に教育の課題に取り組む学校体制の充実を図る。	① パートナーズ(PTA)活動との連携を図り、学校会計の適正な執行を行うとともに、学校環境の整備を行う。 ② 情報セキュリティの重要性を周知し、事故等の未然防止に努める。	① 学校会計を適正に執行するとともに、私費会計の配分等を見直し、適正な予算計画を策定する。 ② 情報管理に関する職員研修等を通じて、その重要性についての理解を徹底する。	① 適切な会計執行が行なわれたか。また、学校環境の整備のための予算計画の策定ができたか。 ② 情報管理の重要性について職員に徹底でき、事故の未然防止ができたか。					